

神社仏閣から一般住宅まで 宮大工ならではの高度な施工を！



金沢番匠
西村 総建

〒 920-0209
石川県金沢市東蚊爪町ト 67
TEL 090-4022-7077 / FAX 076-255-1677
URL <http://www.nishimura-soken.com>

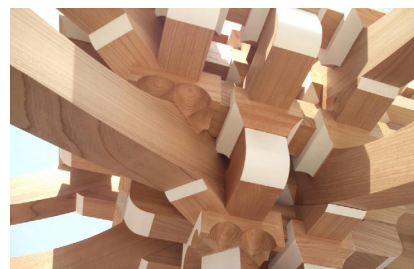
Company data

代表

西村 洋志

石川県出身。学業修了後、神社仏閣や重要文化財の建設・修復を手がける建設会社に就職する。11年間の勤務を経て、2013年に同業界で「西村総建」を立ち上げ、独立を果たす。現在は社寺建築で培った高い技術力を活かし、ハイレベルな施工の一般建築も手がけている。

Personal data



▲ 緻密な計算と技術が要求される斗組

に至るまでリフォーム全般を手がけさせて頂いています。技術においては絶対の自信を持っていますので、住宅のことなら何でもご相談頂ければと思います。

焔山 宮大工の経験に裏打ちされた心強さがありますね。ところで、最近建築業界も若手が少なくなっていると聞きますが、御社ではいかがですか？

西村 やはり人材育成は当面の課題の1つですね。特に宮大工の場合は膨大な専門スキルや知識が必要になるので、習得にも時間がかかります。ただ、次世代に伝統を受け渡すためにも、私たちの世代で頑張っていきたいと感じています。

将来的には、北陸地域を代表するような企業に成長させるのが目標です。今後も社寺から住宅までを担える総合建築業者として、大きく飛躍していきたいです。



焔山 神社仏閣の建築や一般建築など幅広く手がけておられるそうですね。職人にも様々な種類がある中で、宮大工の道を選ばれたきっかけとは？

西村 以前から地元で将来、国宝となるような建造物を建てたいという思いがありました。中でも、職人として最高峰の技術が求められる宮大工には、どこか惹かれるものがあったんです。そこで、社寺建築の建設・修復を専門とする会社で経験を積み、29歳で独立しました。

焔山 宮大工の世界では、一人前になるのにどれほどの時間がかかるのですか？

西村 一般には10年と言われています。しかし20、30年と経験を積んでも、我々の先祖が何百年もかけて培ってきた技を完全に習得できるわけではありません。それを踏まえた上で、より技術を極めていく努力をするほかないのです。

焔山 歴史があるだけに、非常に奥が深い世界なんですね。

西村 ええ。また社寺建築には最初から設計図があるわけではなく、完成のイメージから大工自らが原寸図を書き、梁の大きさや屋根の反り、柱の長さなどを決めていかなくてはなりません。彫刻一つひとつの彫りの深さから、柱や化粧材の継ぎ手の細工、百年後を見据えた木の動き。小さなミスが命取りになるので、

最初から仕上がりを頭に入れた状態で慎重に進めていく必要があります。

焔山 それに、出来上がったものは何百年も残るわけですから、プレッシャーは並大抵のものではないでしょう。

西村 そうですね。私たちは毎年のように社寺を建てていきますが、その地域の檀家さんや氏子さんにとっては、建て替えは一生に一度あるかどうかの大きな出来事。最近でも市内に神社を建てましたが、建設現場には毎日何名もの氏子さん方が見学に来られたので、仕事中は常に独特の緊張感がありましたね。

焔山 そのような貴重な現場で培った経験があれば、一般建築の施工も安心してお任せできそうです。

西村 そのようにおっしゃって頂けると嬉しいですね。現在、一般住宅や店舗に関しては、内装からオーダー家具・外壁

Guest Comment

焔山 隆則 (元ボクシング世界王者)

社寺建築は大きな責任が伴う仕事だけに、完成した際には様々な感慨が湧き起こるのだとか。従業員の中には棟が上がった際に涙を流す方もいらしたそうで、数百年に一度の機会に携わる貴重なお仕事ならではの魅力に、私も感銘を受けました。

